



町民投稿

いにしへの 河岸段丘 風薫る(清子)

2019.7
No.144

松川町議会です

シリーズ 「えがお」



国保税、昨年と同率に!

2~3ページ

ドアtoドアの実現へ

12ページ

新町政を質す 一般質問

14~19ページ

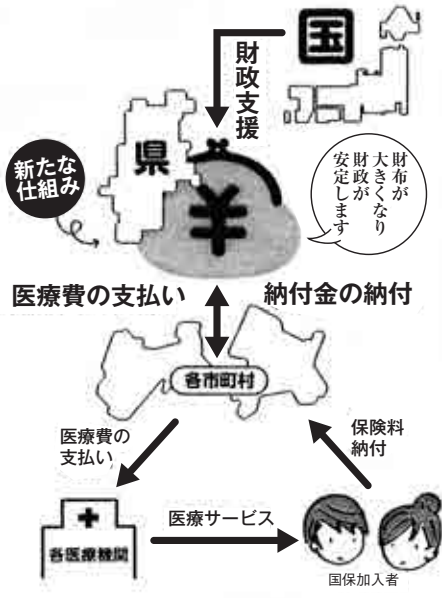


年と同率に!

今年度の…松川町国保事業会計は…
12億7千万円
基金から8,000万円繰り入れ

平成30年4月から今まで市町村で運営していた「国民健康保険事業」が県に移管され、県が統括することにより、それまで市町村間で大きなばらつきがあった国保税の平準化が出来る事、国との連携が取りやすい事、急激な医療費の増にも会計規模が大きい為に市町村への影響が少ない事、など多くのメリットが生まれます。

しかし、現状は各市町村の前年に支払われた医療費や総合健診受診率などにより、県への納付金額が決められます。松川町としては、いっそうの医療費削減や健康施策の取り組みに努力する必要があります。なお、県に移管しました。色々な収入を合わせて12億7,000万円に足りない金額が「国保税」として加入者から徴収されます。



国保税って、どのように決めるの?

松川町の国保会計を運営していくための令和元年度の予算は、12億7,000万円です。その収入源は県からの支出金などがありますが、元となるのは国保税です。

今年度は年々医療費が増える傾向にある事、基金からの繰り入れ8,000万円が可能なことなどから、昨年と同率となりました。

2億3400万円
国保加入世帯数×各世帯の国保税

(下記の合計金額が各世帯の国保税になります)

	所得割 (前年の所得を 基に算定)	資産割 (固定資産税を 基に算定)	被保険者 人数割り (世帯の国保 利用者数)	世帯割 (一率)
医療分	5.00%	5.00%	15,000円	13,200円
支援分	2.55%	5.00%	6,500円	5,100円
介護分 (対象 40才~64才)	2.3%	5.0%	7,200円	4,900円



国保税、昨

低所得者に対し
の、軽減措置が
あります

軽減は被保険者人数
割りと世帯割に対して
行われ、世帯の所得に
応じて7割、5割、2
割が軽減されます。

なお、1人世帯や2
人世帯で後期高齢者医
療に1人が移られた世
帯などには、さらに軽
減があります。

軽減分については、
国から交付税処置があ
り、国保会計に入りま
す。

国民健康保険の
現状と、これか
ら

国保が、他の共済保
険や協会健保と大きく
違う点は何でしょうか？

それは、加入者は定
年退職後の高齢者が圧
倒的に多く、働く世代
の加入者でも、失業者
や社会保険に加入でき

ない雇用形態の人など
が多い事です。

現役世代の加入者が
大多数の他の健康保険
組合と比べて、高齢者
が多い事は罹病率も高
くなり医療費も高水準
となります。

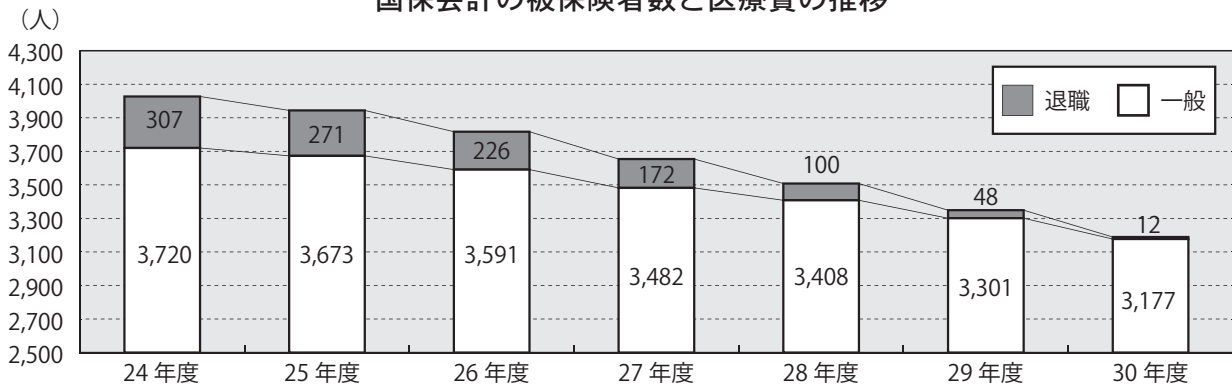
そして、生活基盤の
脆弱な加入者が多い国
保は、高額な国保税が
大きな負担となり生活
を圧迫しているという
状況もあります。

町では被保険者の減
少も進んでおり、平成
24年の4,027人から
平成30年には3,189
人になりました。

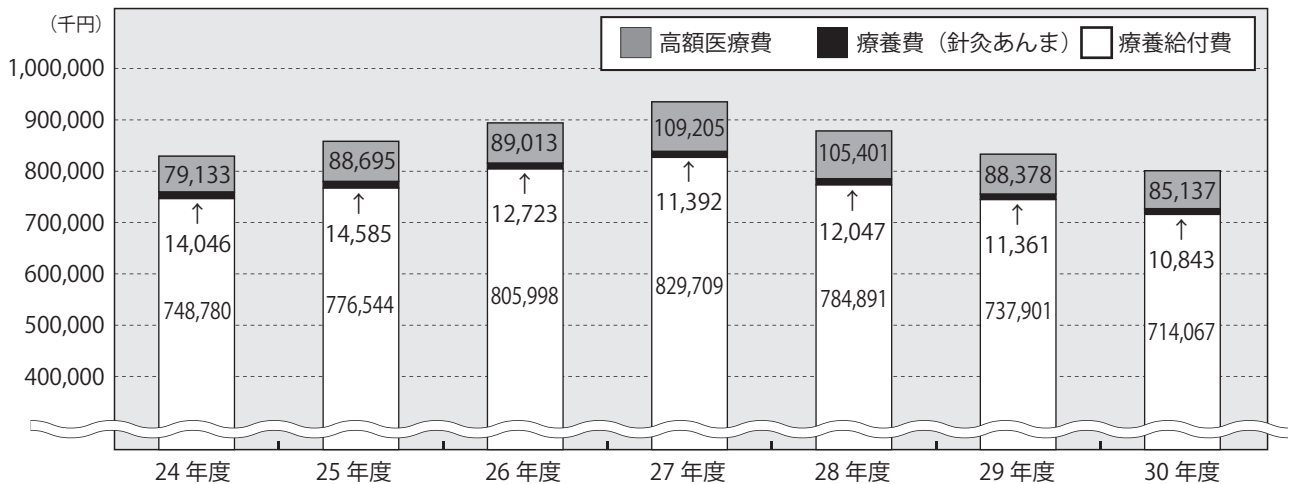
これは、社保加入の
増加、自営業者の減少、
74歳までの高齢者の減
少などが理由です。

町では各戸へ保健師
の派遣や歯周病健診補
助などの施策を行い、
健康増進に努めていま
す。引き続き医療費の
増大を防ぐ為の施策の
推進が望まれます。

国保会計の被保険者数と医療費の推移



加入者は年々減少しています。



平成27年度をピークに医療費が減少傾向にあります。

十分な協議なく上程。やむなく承認。 令和元年度 第1回 一般会計補正予算 総額約 1億3,000万円

一般会計（第1回）補正予算概要

(1) 歳入

(単位：千円)

科目	補正額	主な増減内容
地方交付税	20,741	・特別交付税 (+20,741)
国県支出金	39,417	・地方創生拠点整備交付金 (+9,240) ・プレミアム付商品券事業助成金 (+13,670) ・地域発元気づくり支援金 (+5,939) ・発掘調査関係委託金 (+7,574)
諸収入	35,500	・プレミアム付商品券販売収入 (+35,000)
町債	12,200	・総合交流促進施設観光拠点(梅松苑)整備事業 ▷ 辺地対策事業債 (+9,200) ・子育て支援センターおひさま空調設備整備事業 ▷ 緊急防災・減災事業債 (+3,000)

(2) 歳出

(単位：千円)

科目	事業名	補正額	内容
総務費	戸籍等証明書コンビニ交付システム構築事業	32,590	各種証明書をコンビニエンスストアで取得できるシステムを構築
民生費	プレミアム付き商品券事業	48,672	住民税非課税の方や、3歳児未満の子育て世代に対し、消費税率引上げによる家計への負担や影響を緩和することを目的にプレミアム付き商品券事業を実施
農林水産業	松川町版農業担い手育成支援事業	4,446	農業担い手の確保・育成を目的として、地域おこし協力隊制度を活用した就農希望者を募集。農業研修及び農業経営全般の研修
	総合交流促進施設観光拠点(梅松苑)整備事業	18,480	梅松苑の交流棟(喫茶リフレ)の改修、キャンプ用シャワー棟の整備
商工費	鳥帽子岳～越百山登山道整備事業 [地域発元気づくり支援金事業]	4,444	飯島町と協力して、登山道と山小屋の整備
消防費	消防団救助能力向上資機材緊急整備事業	5,584	災害時における消防団、救助用資機材を整備
教育費	馬坂遺跡発掘調査	7,574	馬坂遺跡の発掘調査

新しく就任した宮下町長の出席を求め、最初の定例会が6月6日から24日まで開催された。本年度一般会計他3特別会計の補正予算が上程され、担当常任委員会で審査。24日本会議にて討論の末、原案通り可決。最低賃金の改善や中小企業支援を求める陳情は不採択とした。

討論

★デマンド交通★

賛成

○色々な交通手段があるが実証実験で高齢者の足を確保することが大事である。森谷議員
○一日も早く運行コースの体制を作る為に今回の予算の承認が必要である。島田議員
○デマンド交通というものを住民に広く理解していただく機会となると確信している。

坂本議員

★その他の事業★

反対

●コンビニ交付はマイナンバーカードが無いと受けられない。カード交付数が少ないのが問題である。プレミアム商品券については2万円を出して町民の生

反対

●計画案としては十分である。実証実験計画を改めてきちんとしたものにして報告も必要。黒澤議員
●計画が不十分で煮詰まっていない。9月補正で十分に間に合う。さちんとしたものを提出するように。

中平議員

●先に予算を通してから手法を考える方法は議会と行政の関係が根本から成り立たなくなる。松井議員

松井議員

活に役に立つかが疑問。発掘調査は全てが終了したところで報告書を作るべきである。佐藤議員

佐藤議員

●新規就農者支援を目的とした地域おこし協力隊の予算計上も完全とは言えない事業内容である。黒澤議員

黒澤議員

1111が聞きたろー！

補正予算総括質疑

政策提言 よろやく

実施の運び

農業担い手育成事業

質問 対象者の募集方法はそのどのように行うのか。また応募見込みがあるのか。

答弁 ある程度の農業経験者や農業学校卒業者をターゲットにネット募集を考えている。採用年齢は40歳以下を目標。地域おこし協力隊の活動状況から10%程度の希望者が見込まれる。

質問 新規就農者の住宅確保の今後の見通しは。担い手のサポート体制として里親制度や篤農家のサポートを考えたのか。

答弁 今後については応募状況により空き家などの活用を検討したい。里親制度や篤農家



のサポートは今のところ計画はしていない。地域に溶け込んでいただき、地域の皆さんに育てていただく。そういう機運を醸成していくことが大事。

質問 地元の人は対象外。不公平感の問題を

どう解消するのか。
答弁 財政的に有利なものを活用したい。担い手事業として総額のなかで計画した。執行するなかで周知を図っていききたい。

帰宅便デマンド化

望まぬ実証実験

地域公共交通事業

質問 事前に協議を深めて予算計上するべき



荒廃進む町の宝

だ。全協でも多くの議員から価値ある実証実験が求められている。修正しないで実施するのか。

答弁 なるべく早い時期に実証運行したい思いがあり提案した。内部で詰めたが、今回はこのままで上程をお願いしたい。

費用対効果の検証を

梅松苑整備事業

質問 交流棟改修、シャワー棟整備に多額の予算が計上。毎年の赤字が解消され、黒字に転じていけるのか。

答弁 生田地区の活性化の施設であり、赤字の状況を少しでも改善したい。

質問 営業が成立たないようでは維持は困難だ。喫茶については、引きつける目玉が必要だが。
答弁 非常に使い勝手

が悪く、また観光窓口としても改修が必要だ。観光まちづくりセンターや町の観光資源との連携を図るなかで宿泊交流を増やしていきたい。

エアコン設置の

内訳は

質問 子育て支援センター「おひさま」と、教員住宅にエアコンの設置が計上されている。その詳細は。

答弁 「おひさま」の交流広場にツイン型一基。集いの広場と事務室に各一基業務用タイプを。名子原の教員住宅4棟4室に家庭用を計画。

英語検定補助

制度の中身は

質問 補助金額の割合と受験人数は。

答弁 一年度当り、一児童一回を基準に自己

負担金10000円を控除した額を補助。
・小学生11000円
・中学生24000円
今年度は小学生1100人、中学生2000人分を計上した。

認知症への対応は

包括的支援事業

質問 認知症対策事業は非常に大事である。現状と今後について。

答弁 高齢者に占める認知症、日常生活自立度2A以上の方は450名で、約1割の方が発症している。関係部署との連携強化を図るとともに、認知症保険への加入や模擬訓練の研究を進めていく。オレンジカフェについては、他地区への波及を今年度研究課題としたい。

- ◎松川町土地開発公社の経営状況、平成30年度事業報告及び決算内容について、令和元年度の事業計画及び予算についての報告、説明があった。
- ◎チャンネルユーの経営状況、及び平成30年度の決算についての報告及び説明があった。現在のデジタル放送については、好評であるか、また現在の設備では4K8K放送に対応されていないので、どの程度の費用が必要か試算して提示するよう要望した。

陳 情

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を

求める意見書」の採択を求める陳情書

アベノミクスによる「異次元の金融緩和」によって、大企業の内部留保は増えましたが、労働者の実質賃金は下落し、消費支出も減少し続けています。「雇用の流動化」が推し進められ、非正規雇用労働者が全労働者の4割に達し、労働者の4人に1人が年収200万円以下というワーキング・プアに陥っています。貧困の連鎖も深刻な社会問題になっており、2018年の改定による地域別最低賃金格差は時間休で224円まで広がっています。

総務産業常任委員会において慎重に審査を行った。最低賃金は昨年2018年に改訂されており、最低賃金の改善のみが強調されている。中小企業の支援の拡充についての趣旨が薄く、中小企業や担い手不足の農家にとって、大きな影響があるとの意見があった。採択の結果、当委員会では反対4賛成2で不採択となった。

討 論

賛 成

○政府も最低賃金1,000円を目指している。賃金を引き上げて国民全体が豊かにならなければならない。
○貧困の連鎖と云うことを長年聞いている。飯田下伊那郡は特に安い状況である。

松井議員

熊谷議員

人 事

〈同意事項〉

松川町副町長

令和元年7月8日
から4年間



久保 友二氏
(新任)

令和元年 第2回議会臨時会

5月23日議会臨時会が開催された。
町税条例の一部改正に伴う専決処分、国民健康保険条例の一部改正に伴う専決処分の承認。松川町民体育館耐震補強工事請負契約の締結事項が上程され、審議の結果、全員の賛成で可決がされた。

町税条例の一部改正は住宅借入等特別税額控除の見直し、住宅ローン減税の拡充など、また軽自動車税の見直しなどがなされた。

平成31年度以後の年度分個人の町民税について適用される。
国民健康保険税条例については、上位法の国民健康保険法施工令に合わせての改正です。

町民体育館耐震工事につ

いては、平成31年度都市再生整備計画事業で実施される。請負契約の締結先は神稲建設株式会社、契約の金額は消費税込みで2億7,940万円です。施工期間は令和2年3月末を予定している。その間、町民体育館の使用ができなくなる。その他として平成30年度事業のうち次年度に繰り越されて行う事業の報告があった。

令和元年 第3回議会臨時会

議会のついでに



今回は広域連合についてお知らせします。

各市町村が行う事務のうち、広域で処理することが、適当であると認められるものに関して、複数の自治体を経費を分担し、効率的に共同処理するための広域行政組織が「広域連合」である。法律上、特別地方公共団体として位置付けられ、飯伊の市町村で「南信州広域連合」を組織し、運営している。

◎広域連合の議会

飯伊の市町村の人口割により議員数が定められ、総数33人、うち松川町からは3名となっている。

◎取組との概要

- ・障がい者相談窓口
- ・障がい者総合支援センター
- ・飯伊子ども発達センターひまわり
- ・広域的な課題の調査・研究
- ・リニア中央新幹線開業に望まれるインフラ整備研究
- ・その他広域で推進するに適した事業研究
- ・【飯田広域消防】
- ・消防関連
- ・【飯田環境センター】
- ・ごみ処理
- ・し尿処理

地域医療の改善の取り組み

【看護師等確保対策事業】

- ・職種
- ・看護師・助産師・保健師・准看護師
- ・貸与対象者
- ・看護師等の養成学校に在籍者
- ・本年度の対象者は10名、貸与額は月額5万円
- ・返済免除規定

◎当面の主要課題

「南信州広域連合基本構想・基本計画」に基づき、重要な柱として「定住促進」を掲げ、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の開通を見据え、持続可能な地域づくりの方向性が示されており、その実現に向けた具体的な検討を進める。

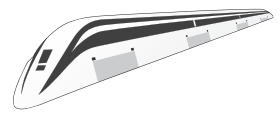
松川町に関連した広域の課題

- ・飯田広域消防高森消防署は、北部地域の防災拠点としての役割を見据えて消防施設の在り方を検討するとされているが、高森消防署の建屋は耐久時期を迎えることと、立地が災害時に冠水の危険もああり検討が必要とされている。
- ・リニア中央新幹線については、駅周辺について、これまで検討の場が進められてきたが、松川町を含めた北部地域の接続に関する国道153号線を含めた道路整備については、交通網も含め今後広域としての検討の場での協議される必要があると考えられる。これは、南部・西部



老朽化と冠水の危険

も検討の時期となってくる。



だより

総務産業建設 常任委員会

12日（水）に総務産業建設常任委員会、を行い、

分担し、能率的に処理するために設置された機関です。

総務産業建設常任委員会とは、総務課・まちづくり政策課・産業観光課・環境水道課・建設課・会計室の分野を担当しています。

質問・意見

答弁

①観光費の登山道整備費432万円について計画、目的、費用、観光資源としての考えかたは

①登山道整備、草刈り、木の伐採、倒木等の管理を山の会の皆様にして頂いている。烏帽子岳より奥の登山道整備、縦走に必要な整備計画で216万円、烏帽子の6合目付近の登山道を少し下に付け替える計画で120万円、9合目付近岩場にステップを造る工事費96万円、今年度で元気づくり支援金は終了、次年度以降は近隣市町村と連携継続していく。

②農業振興費の農業担い手に特化した地域おこし協力隊の募集の方法は

②ネットが中心になるが、農業者を募集する専用のサイトに登録し、就農相談会を関東圏、中京圏で行う。担い手育成事業という固い名称を、「農業を松川町でやってみませんか」ということを色濃く出した表現にしている。

③デマンド試験運行を生田地区で行い、成果が出たら、ほかの地域でも試験運行を行うのか。スクールバスとは別に考えるべき。「戸口から戸口へ」のデマンド運行の基本に立った考えは。また協議会に議員も参加すべきなどと多くの意見があるが

③生田地域住民の声をよく聞き、よい形に持っていく実証実験を行う。他の地区も地域性があり実証実験を参考にし、行う形を考える。生田地区の意見では午前は大島の方へ来る便はバスで、帰りはデマンドでという声が多かった。業者の協力があり進めている。10月より実証運行に入るが、委員会でも出された多くの意見や要望等を踏まえ取り組んでいく。

④中山間地活性化推進事業で梅松苑の改修と整備は。シャワー室のセキュリティは

④この事業は3年間の事業で、今年3基のテントの購入と、ステージ後の水路の修繕を行う。シャワー室は男女別を計画し、セキュリティは防犯カメラ等の設置を検討していく。



テラスや専用トイレを完備したツリードーム



進む229号線改良工事

調査・研究

フォレストアドベンチャー下付近の229号線道路改良工事と、移設リニューアルしたツリードームのトイレや虫除けテラスの現地調査を行った。

社会文教 常任委員会

社会文教常任委員会とは、住民税務課・保健福祉課・教育委員会及び議会事務局の分野を担当しています。

委員会

6月10日（月）に社会文教常任委員会、6月委員会ごとに現地調査を実施しました。

※常任委員会制度とは、多数の議案をそれぞれ担当部門別に調査を

質問・意見

答弁

①住民票などのコンビニ交付システム導入について具体的な計画は

①マイナンバーカードの取得が必要であるが、全国のコンビニで住民票、印鑑証明、戸籍証明、税証明が受けられるサービスを令和2年2月頃より運用開始し利便性を高める。高森町、阿智村、松川町共同で導入する為導入経費は抑えられている。3町村で協議し出来るだけ安い利用料金設定を考える。

②登下校安全マップ作業費と、ブロック塀の危険箇所はどうするか

②大判90枚の作成費として計上、各家庭や住民向け縮小版の作成は庁舎内で印刷し配布する。危険性のあるブロック塀については建設課と相談の上対応する。

③消費税アップに伴いプレミアム商品券を発行するが対象者の70%で予算計上したのは何故か。また国の方針以外で町独自の基準のプラスを考えなかったか

③過去の発行状況から、対象者の70%で予算計上したが、発行状況が予想を上回れば国へ追加交付申請が可能である。町独自の基準については考えなかった。

④馬坂の文化保護調査費についてたびたび予算計上されているが、今後どのように進めるのか

④新たに県の買収用地で遺跡発掘が行われる可能性も若干あるが、今回の発掘調査が最終となる。今迄の発掘調査も含めて報告書を作成する。

⑤子育て支援センターおひさまのエアコン設置について具体的にどのようになっているか

⑤交流広場ツイン型一基、つどいの広場一基、事務室一基をそれぞれに設置、いずれも冷暖房使用可能である。

⑥介護保険事業では、家族の手助けとなる位置検索システムについての広報と利用促進が必要ではないか

⑥利用を望まない方もいるが、包括支援センターで家族や本人との話し合いの中で利用促進をはかる。



おひさまの交流広場にて



親愛の里の施設説明

調査・研究

午後より「親愛の里」の視察及び運営状況について現地に出向き説明を受けました。

引続き「子育て支援センターおひさま」にてエアコン設置場所の確認を行いました。

議 決 結 果

令和元年第2回松川町定例会議決結果

件 名		結果	内 容
条例	松川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	学校教育法の一部を改正する法律の改正による
	松川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	学校教育法の一部を改正する法律の改正による
令和元年度 補正予算	国民健康保健事業特別会計補正予算（第1回）	可決	歳入の款変更 1,272,341千円とする
	介護保険事業特別会計補正予算（第1回）	可決	歳出の款変更 1,288,606千円とする
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）	可決	226千円を追加し161,744千円とする

●多数意見により議決されたもの

○ 賛成 ● 反対

件 名		米山郁子	佐藤史人	川瀬八十治	大蔵洋	中平文夫	菅沼一弘	黒澤哲郎	坂本勇治	熊谷宗明	森谷若夫	島田弘美	間瀬重男	松井悦子	結果	内 容
令和元年度 補正予算	一般会計補正予算（第1回）	○	●	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	●	可決	130,902千円を追加し 6,280,902千円とする
陳情	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める陳情	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	○	不採択	飯田下伊那地区労働 組合連合会より提出

令和元年第2回松川町議会臨時会議決結果

件 名		結果	内 容
専決処分	松川町税条例の一部を改正する条例の制定について	承認	町民税・固定資産税・軽自動車税に関する経過措置
	松川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	承認	第2条第2項、第23条の改正
条例	松川町税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	町民税に関する経過措置
締結	平成31年度都市再生整備計画事業松川町民体育館耐震補強工事請負契約の締結について	可決	神稲建設㈱と契約 279,400千円

令和元年第3回松川町議会臨時会議決結果

件 名		結果	内 容
選任	松川町副町長の任命について	同意	久保友二氏(新任)

4月～6月 主な議会日程

4月1日(月)	広報部会	6月6日(木)	議会全員協議会
5日(金)	広報部会		第2回定例会本会議開会
9日(火)	広報部会	6月10日(月)	社会文教常任委員会
11日(木)	広報部会	12日(水)	総務産業建設常任委員会
5月8日(水)	議会運営委員会	18日(火)	第2回定例会一般質問・広報部会
16日(木)	松川町国民健康保険運営協議会	24日(月)	議会全員協議会
23日(木)	議会全員協議会		第2回定例会閉会
	第2回議会臨時会	26日(水)	広報部会
24日(金)	社会文教常任委員会	26日(水)	議会全員協議会
		7月2日(火)	第3回議会臨時会

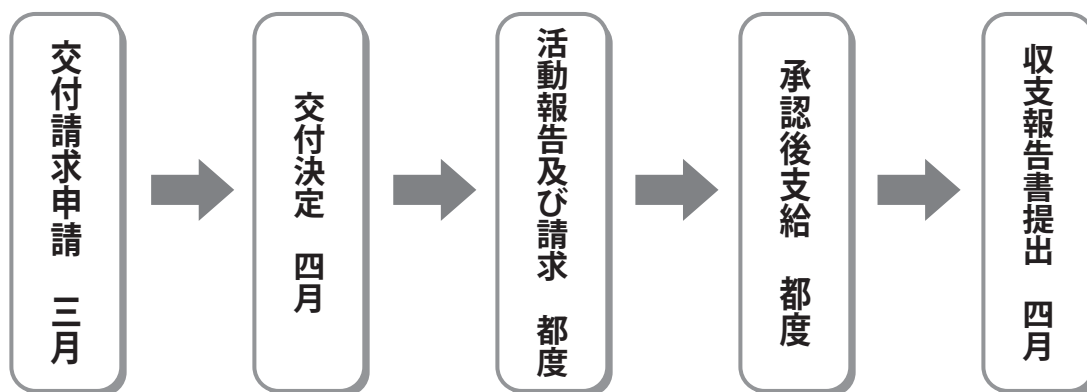
2018年度 政務活動費支給状況

(2018.4月～2019.3月)

No.	氏名	交付決定額	活動実施年月日	活動内容	場所	請求額	支給額合計
1	米山 郁子	84,000	30.4.19	長野市第四学校給食センター視察	長野市	9,329	40,665
			30.5.17	自治体フェア (シェアリングエコノミーによる地域観光資源の活用と可能性)	東京都	7,820	
			30.7.10	長野県ユニバーサルツーリズム推進会議 (第1回)	長野市	7,060	
			30.11.1	信州あいサポートフォーラム2018	松本市	4,560	
			30.11.19～20	市町村議会議員特別セミナー	滋賀県	11,896	
2	佐藤 史人	未申請					
3	川瀬八十治	未申請					
4	大蔵 洋	未申請					
5	中平 文夫	84,000	30.7.25～7.26	第2回自治体決算の基本と実践行政評価を活用した決算審査	滋賀県	25,423	55,885
			30.10.9～10.10	社会福祉法人佛子園視察	石川県	18,620	
			30.11.19～11.20	市町村議会議員特別セミナー	滋賀県	11,842	
6	菅沼 一弘	84,000	30.10.9～10.10	社会福祉法人佛子園視察	石川県	18,620	18,620
7	黒澤 哲郎	84,000	30.10.9～10.10	社会福祉法人佛子園視察	石川県	18,620	59,551
			30.10.15～10.16	未来を繋ぐまちづくりのための情報収集とマネジメント力向上	滋賀県	14,692	
			30.11.19～11.20	市町村議会議員特別セミナー	滋賀県	26,239	
8	坂本 勇治	84,000	30.10.9～10.10	社会福祉法人佛子園視察	石川県	18,620	44,776
			30.10.15～10.16	未来を繋ぐまちづくりのための情報収集とマネジメント力向上	滋賀県	14,476	
			30.11.19～11.20	市町村議会議員特別セミナー	滋賀県	11,680	
9	熊谷 宗明	84,000	30.10.9～10.10	社会福祉法人佛子園視察	石川県	18,620	18,620
10	森谷 岩夫	84,000					
11	島田 弘美	未申請					
12	間瀬 重男	84,000					
13	松井 悦子	84,000					
14	米山 俊孝	84,000	30.10.9～10.10	社会福祉法人佛子園視察	石川県	18,620	18,620

※2018年度4月より政務活動費は後払い方式となっています。

◎ 政務活動費の請求から支払までの流れ



交通弱者を救え

地域の公共交通を考える

ドア-to-ドアの実現へ

デマンド交通への取り組み

皆さんはデマンド交通をご存じでしょうか。

デマンド交通とは利用者による予約や要望があった時にのみ運用する公共交通システムです。タクシーと同様に出発地と目的地を自由に指定でき、乗り合いを前提として利用者の要望に柔軟に対応し、路線バス程度の低料金で利用できる交通システムを言います。

松川町は十年程コミュニティバスの路線や時間帯の検討・変更を行ってきましたが、朝晩の通学通勤の利用者はある程度有るものの、昼間の循環路線の利用者は極めて少なく、

空席での運行も見受けられました。

特に生田地区の路線はそれぞれの自宅からバス停が遠いこと、循環することで目的地までの移動時間がかかるなどの利用しにくい環境が有り、利用者は年々減少しています。私たち議員も数年前から、デマンド交通の先進地を視察し、松川町にあったデマンド交通を提案してきました。

先進地では自宅から目的地まで、目的地から次の目的地、最後は自宅までといった運用を行っている自治体も増えてきました。

また町では昨年に公共交通についてのアンケートや、住民からの要望の聞き取り調査を

実施してきました。

松川町もようやくデマンドでの試行運用を十月から始めようとしています。六月の定例会での説明では、不十分な点が多々有りますが、試行運用開始までに検討を重ね、少しでも住民の利用しやすい公共交通に向けていきたいと考えています。

議会でいった 主な視察先

● 京都府京丹後市丹後町

住民ボランティアがドライバードライバーとして、家用車を使って地域住民や観光客を運ぶ公共交通です。利用者が車を呼ぶには、スマートフォンでUber(ウーバー)のアプリを使ってマッチング(配車乗車)を行う、ICTを活用した先進的なシ

ステムを取り入れています。このようなシステムを利用した「公共交通空白地有償運送」は日本初です。

● 沖縄県南城市

デマンド交通(おでかけなんじー)バスとタクシーの良い所どり、運行区間は南城市内、運行時間は毎日午前八時〜午後八時、利用対象者は南城市民、一般の観光客。電話などで事前に予約をして乗車する乗合型の新しい交通システムです。

十名乗りのワゴン車両でお迎えに行き、市内の目的地までお送りする、タクシーの便利さと路線バスの手軽さを併せもった交通サービスです。京丹後市や、南城市も、松川町に取り込めそうなシ

ステムだと思っています。ネットを使ったタクシー代わりの移動システムは日本全国で一般化しそうです。松川町もバス会社とタクシー会社と共に、住民に寄り添った交通システムの構築が求められている。将来は、町内だけでなく隣接市町村と協力して移動範囲の広域化とコスト削減ができればと考えて取り組んでいきます。



一刻も早いデマンド化を

ただ 町政を質す！ 一般質問

1 松井悦子議員（14 ページ）

- ・町長の政治姿勢を問う

2 中平文夫議員（15 ページ）

- ・町長としての認識度の基準は
- ・運転免許の自主返納に対する対応策

3 大蔵 洋議員（16 ページ）

- ・リニア建設工事を巡る生田地区への残土置き場の対応は
- ・「元気センター（仮称）」の取組は

4 島田弘美議員（17 ページ）

- ・就任 1ヶ月余り、町政を担って率直な感想を聞きたい
- ・議会等公会議における発言について責任度合の認識は
- ・高齢者福祉対策は

5 佐藤史人議員（18 ページ）

- ・町民の声を町政にどう生かしていくのか
- ・町運営における総合計画とその策定は

6 黒澤哲郎議員（19 ページ）

- ・行政のトップとしての役割と責任は
- ・選挙公約について
- ・所信表明の内容に関連する事項

一般質問は議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

質問の持ち時間はひとり20分ですがスペースの都合上、質問者の責任において質問と答弁を要約して掲載しています。本会議での傍聴をお待ちしております。



お知らせ

皆さまとつくる議会だより

募集

- ★テーマ笑顔の表紙写真と俳句
- ★議会だよりに対するご意見や疑問などを投稿してください。

文字数は300字～400字以内としてください。掲載についての可否に対するお問い合わせはご遠慮願います。

チャンネル・ユー 議会番組のお知らせ

日頃は「議会の時間」をご覧いただきありがとうございます。広報広聴委員会広聴部として、さらに良い番組作りをしていきたいと思っております。ご意見・ご要望はチャンネルYOUまたは議会事務局までお願いします。



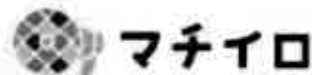
会議録は図書館で

年4回の定例会及び各臨時議会における内容、特に一般質問に関しては図書館にて「松川町議会会議録」としてご覧いただけます。

今月の表紙

檜原の宮下明三・文江夫妻、りんどうからダリアに替えて12年目。結婚して44年、10棟のハウスでいつも一緒だ。ようやく思うダリアの栽培が出来たまでになったと言う。

議会だよりがアプリで見れる



マチを好きになるアプリ



QRコードからもダウンロードできます

問 町長の政治姿勢を問う

答 矢面に立って責任を取る覚悟

(問) 町長は当選時に報道関係者に「新人が現職を破るのは町に問題があるからだ」という趣旨の発言をし、全国へ報道された。

しかし、町のトップがこのような言葉を発するのは、松川町のイメージダウンになり、悲しい思いだ。言動には気を付けて欲しい。

(町長) 当選時の最初の発言はまずかったと反省している。

現在は一切そのような発言はせず、町民の要



松井悦子 議員

望に応えるべく頑張っ
ていきたいと話して
いる。

(問) 町長は盛んに自
分の若さをアピールし
強調しているが、政治に
年齢は関係ないと思う。
若さを利点と考える
根拠は何か。

(町長) 選挙中、若さ
をアピールしたのは、
他に武器が無かったか
ら。

自分と同世代が町政
の場に出て来ないこと
を歯がゆく思っていた
が、当選後若い人達が
関心を持ってくれるよ
うになったと感じる。

(要望) 若いので体力
はあるかと思う。
寸暇を惜しんで町内

を回り、町内の問題点
を探し出し、町民が満
足できる、幸福感を感
じられる町政運営を心
掛けて欲しい。

(問) 選挙中のチラシ
に「自分は層の厚いブ
レーンを持つている」
と書かれてある。

しかしブレーンとの
関係が時として腐敗を
招くことも有る。

ブレーンとの利害に
感わされることの無い
よう、心して欲しいが。

(町長) 皆が言ってい
るといふのは、実は数
人であったり、自身の
意見だったりすること
があると、理解する。

利害関係が入らない
ように慎重に進めたい。
(問) 町が提案をし議
会が承認した政策につ
いては余程のことが無
い限り変更すべきでは
ない。町政が滞り、業
者に迷惑を掛け、町の
信用を無くす。

政策提案の時点で裏

付けや合理性を確実な
ものにして提案して欲
しい。

(町長) 基本的にはそ
のようなことが無いよ
うにしていく。議会に
諮り進めていきたい。

(問) 広報などに「役場
を変える」と書かれて
ある。どのようなことか。

(町長) 各課によつて
働き方に差があったり
風通しが悪くなってい
ると感じる。縦割りの
垣根を越えて議論でき
る役場にしたい。

(問) 町民が役場に対
して一番望むのは法律
や条例に従い、間違い
のない仕事をしてもら
いたいということだ。
それと、優秀な人材

を採用できないようで
は町政への影響は計り
知れない。

その点どうか。
(町長) まず最初に起
案した職員の考えに間
違いが無いかチェック
し、一人一人が間違い
を起さないよう意識
する。

優秀な人材確保につ
いては、役場が明るく
働きやすいとネットや
口コミで伝わるような
役場にしていきたい。

(問) 当選時のコメン
トに、「太陽光発電の
問題の解決をする」と
あったが、どう進める
のか。

家の真横に大規模な
太陽光発電所を建設さ

れ、家を引越したい
と考えるほど精神的な
被害を受けている町民
が居る。どう、対応す
るのか。

(町長) しっかりした
話し合いが出来ていな
いことと感じている。
全ての方に納得いた
だけないとしても、そ
れなら仕方がないなど
思ってもらえるように
したい。

(住民税務課長)
太陽光発電所の固定
資産税の課税方法につ
いては、平成28年頃か
ら協議をしていたが、
監査委員から不適切な
課税だとの指摘を受け
た。周辺市町村の状況
を見る中で不動産鑑定
士の意見を参考に平成
30年度から評価替えを
おこなった。これによ
り、評価、固定資産税
課税はきちんとした方
法になった。過去の課
税については2件の訴
訟を起こされている。

訴訟を起こされている。



問

就任時の訓示、記者会見町長としての認識は

答

職員向けの訓示と思い、あのよう表現であった

(問) 訓示の中で「日本の職場にする」と言われたが、どのようなことか。

(町長) 就任式の訓示は役場職員への訓示と思いきや表現した。世界的に有名な企業で「立場の差はあっても、自由に発言できる職場は伸びている」そんな町をめざす。

(問) 働きやすい職場にと言われたが、働きにくい職場と感じたのはどのようなときか。

(町長) 役場にずっといるわけではないので、庁舎内で、親しい仲間



中平文夫 議員



町長の言動は重い!! 言葉はひとり歩きする

からの情報で、提案しづらいという意見があった。

(問) 気軽に話せる職員からの情報だけでなく、意見として聞きながら消化していく必要性がある。全体的な話を総合すると、日本一

の職場とは日本一の住民サービスのことか。

(町長) そう唱ってしまふと、住民主体のまちづくりとは離れてしまう。

(意見) 住民の話聞き、それを消化して行政を動かすが、役場職員の絶対的使命である。それが住民サービスの向上につながる。

(問) 記者会見の席で「新しいことを始める前に、リニア残土の件太陽光発電課税の件を、早急に取り組むと

言われた。解決しないと次に進まないのか。

(町長) まず足元を固めないと何もできない。早急に取り組むと思うが、先のことはやらないと言う話ではない。

(意見と要望) 町長の言葉は非常に重い、外に出た言葉は、取り返しがつかない。町長としての歳費も、十分自覚し、二元代表制である議会との十分な話し合いが必要である。

問

答

免許自主返納者への支援策は町として再構築の必要性がある

(問) 高齢者の自動車事故が、社会問題となっている。運転免許返納者へ、どのような支援体制がなされているか。

(保健福祉課長) 平成27年より、ひまわり乗車券で対応している。県の取組として、タクシー利用の場合、料金の一割引きで利用ができる。

(まちづくり政策課長) 返納者ばかりでなく、以前より65歳以上

(問) 現状での支援策には無理が生じている。今後は「急発進防止装置」購入補助等を含めて、町単位ではなく、県へも働きかけをお願いしたい。

(町長) 今後自主返納者も伸びると思う。ご不便をかけない方向性を検討する。

(意見と要望) 車は必需品であり、死活問題である。デマンド等を含めて町内のインフラ整備など、スピード感をもって、出来る事の検討を要望する。

(保健福祉課長) 重度心身障害者及び一人暮らしの高齢者への、交通手段を確保するのが目的である。免許返納者支援も平成27年より行っている。

(まちづくり政策課長) 自主返納者も今後多くなる。横断的連携の必要性がある。



小手先の提案ではなくダイナミックな提案を!!

いっぱん質問

問 行政主導で方向性を示すのか

答 中立・公平な立場を維持

(問) 就任後の報道への発言の一つとして、リニア新幹線に伴なう残土置き場のトラブルを解決しないと、新しいことが始められないと述べられている。従来地域の合意形成を見守るといふ中立の立場から、町が主導して方向性を示すのか。

(町長) 私自身が早く何とかしなければいけないという気持ちのなかから発言をした。町は中立の立場で地域の合意を図っていくなかで、もっと深くお手伝いを



大蔵 洋 議員

(町長) 地域が割れるということを一番危惧している。中立・公平な立場で話し合いの場を設け、促していくこと以外、今はできない。

(問) 県・JR東海に対して、対応や説明を求

めていくと表明。具体的には。

(町長) 今までも求めてきたことは承知しているが、繋ぎ役がうまくできていなかったのかと思っている。説明を



安全・安心の検証を

求めるだけでなく繋ぐ立場としていきたい。

(問) 町全体の理解・合意が必要だ。多くの町民を対象に専門家による学習会開催を。

(まちづくり政策課長) 地域の合意形成を第一に考え、町全体の合意を図る上で必要であれば考えていきたい。

問 元気センターの今後の取り組みは

答 調査をしている段階

(問) 地域共生社会について、どのような考えをもっているか。

(町長) 行政が全て段取りをして、地域にこうするべきだと言うのではなく、行政が地域のなかにあるさまざまなコミュニティとか、さまざまな立場の人を繋ぎながら皆で地域を育てていくことかと理解している。

(問) 昨年「元気センター(仮称)」の検討委員会が立ち上げられ、設計コンペも終了し建設委員会立ち上げの段階にきている。新しい町長の誕生ということでストップした状態である。次のステップに進んでいたいただきたいが、お考えは。

(問) 昨年「元気センター(仮称)」の検討委員会

(町長) 利用されるであろう対象の方たちの意見は、現時点では必ずしも歓迎という方向ではない。今の私としては判断できない。調査している段階である。

(保健福祉課長) 今後の多様な選択肢を検証するなかで、町長の考えに従いたい。



開設待たれる集いの広場



島田弘美 議員

(問) 町政運営には、スピード感と決断力が要求されると思うが、どう認識されるか。

(町長) 行政経験のないものが、行政に入って不安はあったが、行政を見直すためのきっかけになればと思っ

ている。は。
(問) 県下最年少町長として期待も大きい。一方で一部町民からは、あの若さで大丈夫かという不安視する声もある。業務に携われてみて現状での感想、思いは。

(町長) スピード感を持った決断力は大事。大きなことは、議会等にお諮りしながら決断していきたい。



町政の根幹を成す重要な審議決定をする議場

問

町長就任一ヶ月余り率直な感想と思いは

答

町政を担っていく姿を見せたい

問

公式会議での課長等管理職の発言は重いと認識するが責任度合は

答

町長に代って発言するにすぎないものであり極めて重いと認識している

(問) 女性の感性を生かすためにも女性課長を登用が必要との認識のもと質問した経緯がある。平成三十一年に一名登用する旨の発言をされた。議事録にもその旨が明記されている。今年三月人事異動の一覧表が配布されたが、約束が守られず、

これに関しての説明はされなかったのはなぜか。
(総務課長) 理事者の考

え方もあり、この場では言えないが、約束が守られなかったことから進めたい。

問 高齢者福祉型商業に対応をどう考える
答 買い物は楽しみという人が多い
ニーズに応えるため関係機関と協議する

(問) 高齢人口が増加するなか、地域活力を高めるために一体何が必要か。便宜を応援するために何ができるか。

(総務産業建設課長) 以前商工会でアンケート調査など行い、種々検討された経緯があるが、体制づくりや車輛確保など維持管理

(町長) 祖父を介護した経験から感じるところもあり、大事なことと思う。具体策は持ち合わせていないが、皆さんで一緒に考えていきたい。

(問) 買物の代金を支払う行為は認知症予防につながると思うが。

(問) 買物の代金を支払う行為は認知症予防につながると思うが。

(要望) お年寄りの活動は地域活力につながる。ぜひ福祉型商業に向けての施策を。

問 町民の声を町政にどう生かすのか

答 あらゆる手段で集め議論する

(問) 町民の要望や意見はどう聞くのか。

(町長) 二つのやり方がある。一つは、フェイスブックやラインなどのネットの活用。気軽に意見が出せ吸い上げやすいが、直接話すのと違い、伝えたい事が伝わらない欠点もある。もう一つは、まちづくり懇談会などの場で直接意見を聞くことを徹底する。地区の会合や町の行事に出席する中で、直接目を合わせて、顔を合わせて話をさせていたがながら意見を聞いていく。



佐藤史人 議員

(問) まちづくり懇談会はどう進める方針か。

(町長) すべての自治会に出席する予定。懇談会の席が、役場職員側と住民側が対面する形式でやっている。もう少しフレンドリーに話ができる、建設的な意見の出しやすい場に変えたいと思ひ勉強中。

(問) 地区の会合や町の行事に参加しない町民の要望や意見は。

(町長) まちづくり懇談会においては、男性の出席者が圧倒的に多い。また町のイベントでも、その場に来られない方が大多数である。

今の段階で各戸訪問は厳しい。ネットもしない、会合や行事にも参加しない方々への対策は大切であり課題。

(問) まちづくり懇談会などの会議で出席者に終了後にアンケートをとるのは良いが、その会議で配布する資料やデータが重要で必要だと思ふが。

(町長) 各自治会によって抱えている課題や話題が全く違う。今は、昨年度までの流れの中で従前どおりのやり方で実施している。今後検討していく。

(問) 町の広報・町長の発信の場として月一回の町民への定例会見を提案するが。

(町長) 今回の段階では考えていない。町の課題や問題への取り組みについて定期的に知らせる場は必要だし欲しい。チャンネルユーの「町長の部屋」を相談中。

7月に行政評価委員会による外部評価を行う。各委員は、選出された有識者から構成されており、その評価や反省点に基づき策定に向けていくということ、従来の方針とスケジュールに変更はない。

問 町運営における総合計画とその策定は

答 第五次総合計画の改訂版として策定する

(問) 総合計画の町政の中での位置付けは。

(町長) 第五次総合計画の策定に「地域づくり会議」として関わった。町にとつての会社为例えれば経営理念だと思つており、町長になつてもこの思いは変わらない。自分の気持ちの入つた経営理念をもとに町の運営を4年間行う。

(問) 総合計画の事業評価はいつ行うのか。

(町長) 住民主体のまちづくりとは。

(町長) 住民主体のまちづくりは、住民がこう

(問) 策定においての新しい取り組みは。

(町長) 評価の資料が分厚くなつていて、評価する際に難しい事業もある。スリム化することにより十分時間が取れ、策定の元につなが

る評価になるよう取り組む方向で進める。

(問) 住民主体のまちづくりと町が考えるまちづくりとは。

したいという夢に向つて行政がどう手伝いできるかという立場。町の考えるまちづくりは、やはりそうは言つても国や県で決めた事を粛々とやることが主であり、それが日本全体を統一をとるという意味での基本。地方創生の中でも行政の事務事業が町がやるまちづくりかなと思ふ。両方のまちづくりで「良い町」が目標。



4月の雪災害を受けた竹林整備事業
地元住人有志ボランティアによる
“地域づくり”
松川自治会

問 どう実現するのか具体的手法は？

答 腹案は持っている答弁は控える

(問) 行政のトップとしての役割と責任は。行政と議会の違いを含めてお聞きする。

(町長) 未来の方向性を示しながら、常に修正をしていく、また、やったことへの責任をとっていくというのがトップの仕事だと思っております。

(問) 選挙では理想や希望を語っていたが、今は行政の長として住民福祉のためにどう業務を執行していくか。選挙チラシには

「和」を強調し住民との対話で意見をまとめ、ていくとあるが千差万別の意見をどう一つにまとめ「和」としていくのか。

(町長) 全ての方が納得しているが対話によってそれなら仕方がないと思っていた。だき前に進んでいくことが一つになるということ。

(問) 選挙公報には5つの公約が記載されている。公約を実現するためにはプラン、具体策が必要だが所信表明でも示されていないので答弁いただきたい。

(町長) 腹案は持っているが絵に描いた餅にしたい。一人歩きして貰いたくないので控えさせていただく。

(問) 町長は具体策を示さないことのために布石を打っているように見える。中途半端な理解で進めると町の不利益になるとか、課長や町民に意見を聞きながらなど自分の考えを示さない。後から意見を言うのは誰でもできる。そして議論は何もないところからは進まない。自分で出した公約だ、持っているなら具体策を示すべき。

(町長) 1番の世代交代活性化は、これ選挙の公約ですので、町の世代交代は確かにできま

した。次の世代が育つてない、そこに関する施策をやっている。2番目の子育て世代が担う行政は、子育てしているトップがい

ると言うことで子育て機関も社会参画できると言うことに繋げていきたい。3番目の子供

が戻る町は、支える人口が、ある程度多くなければ何もできなくなってしまう、若者が戻って来てくれる町に変えていくということ。4番の高齢者活躍できる町は、さまざまの分野の最先端で働いていた方を地域の力に変えられないかなと話をしていく。5番の住民主体のまちづくりは、今日既に話しをしていくので割愛させていただきます。

(問) この答弁では具体的施策が何も見えてこない。所信表明では任期4年間で何をするのか、そのために今年度はどう進めるのか、社会資本整備、福祉政策、教育政策など、方向性と政策を示すべきで、9月の定例議会に

は公約実現の具体策と共にきちんと示していただきたい。また、新聞の質問記事において行政経験の無いのは強みだと答えているが、その真意は。

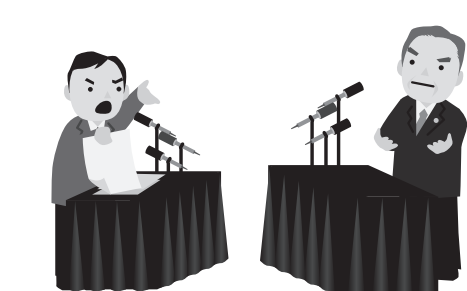
(町長) 去年どおりという話しが通用しない。この会話の中で根本からもう一度、改めて再認識できるという場になることが強みと言え

(問) 執行現場の長としては未経験は大きなハンデだ。役場のベテラン職員にしてみれば町長は中途採用の新人社員で負担増だ、と思っ

(町長) そういう方はいないと自分は思っておりますが、かもしれない。受けていながら人間関係の環境を良く

していきたい。

(意見) 政策を実現するには職員が一番大事だ。組織や人間関係は一朝一夕にはいかなない難しい問題。行政の長はリーダーであり部下にとつては指導者でもある。所信表明最後に自分の成長する姿を見せ続けることを約束すると発言された。町民が望むのは町長の成長ではない。結果だ。役場は学校や訓練の場ではない。執行機関だ。しっかりと認識し自覚していただきたい。



この町に暮らして

住んで納得!! くだものの里まつかわ

城北 足立 裕尚

生まれは京都府、大学時代は香川県で過ごし、就職先の松本市に引っ越してきました。仕事の関係で訪れた飯田市で松川町出身の妻と知り合い、結婚を機にお互いの職場の間地点であり、妻の実家もあるこの松川町で新生活を始めました。

それまで南信は訪れたことがありませんでしたが、晴天率が高く、積雪量も少ないので住みやすいと感じています。住んでから分かったことは

一年中新鮮でおいしい果物が食べられること！高速道路から見える看板「くだものの里まつかわ」に納得しました。

二人の子どもにも恵まれ、今は仕事と育児に追われる毎日ですが、休みの日には庭でプールや花火、城山に登ってかくれんぼや木の実を拾ったりして、子ども達と夢中で遊んでいます。

去年からは町の後援事業である「あそびの楽校まつかわ」に娘と二人で参加しています。



I Have a Dream!

私には夢がある
未来に羽ばたく若者 ● 子どもたち



EL Beatle (キッズ)

サッカーのドリブル能力の向上を目的に「地域発サッカー型スポーツ塾」として活動しています。初心者の方、ただ身体を動かす時間がほしい方も大歓迎です。体験や見学だけでも結構です。私たちと活動してみませんか？

NPO法人 N-JACK forサステナブル
<https://njackfs.amebaownd.com/>

タイトルの「I Have a Dream」は、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の演説の一節。職と自由を求めたこの有名な演説は、公民権運動に大きな影響を与え、未来を切り開いた。

松川青年の家周辺で焚火、お餅つき、雪だるま作りをするなど、出来そうではない自然経験をサポーターをしてくれる事業に非常に感謝しています。

最近では、娘が私の趣味である釣りに興味を持ち始めたので、近い将来、町内の清流で釣りデビューをさせたいと思っています。

これから先も子ども達が伸び伸びと安心して暮らせる町にして欲しいです。どうぞよろしくお願いします。

あとがき

県内の首長のうち最も若い町長が誕生し、初の定例会が開かれました。多くの町民の皆様の期待は大きく、議場も大勢の傍聴者で盛況でした。議会もあまりにも若い町長戸惑いもあります。協力して松川町の未来のために議論を尽くしたいと思っております。初々しく、率直な物言いに好感が持てました。町で一番輝く職場になれるよう、職員の皆様にも「決断をする町長」を本気になって支えていってほしいと願っています。
(森谷 岩夫)

部	報	広
(編集委員会)		
部 長	治 勇	坂 本
副部長	洋 夫	大 蔵
部 員	文 夫	中 平
子 悦	岩 夫	松 井
夫 岩	岩 夫	森 谷
治 子	岩 夫	川 瀬
子 郁	岩 夫	米 山